

山形森林管理署 もがみ支署通信

鮭川村:まぼろしの滝・与蔵の森トレッキングを開催

6月1日(土)鮭川村観光協会・羽根沢温泉旅館組合主催、当支署後援の「第26回まぼろしの滝・与蔵の森トレッキング」が開催されました。一般参加者は県内外から90名。当支署職員3名もスタッフ・ガイド役として支援すべく参加です。

羽根沢登山口から登山道へ。三角点やブナの巨木など見処を巡り与蔵沼でお昼休み。午後は急な下り坂に慎重に歩を進め、沢脇の凸凹に注意し幻の滝のひとつ、白猿の滝を訪問しました。

国有林内のブナ林は好評。途中サンカヨウやハクサンチドリ等の山野草が出迎えてくれました。

大芦沢の駐車場ではコーヒーを戴き、喉をうるおし限られた時間ながら職員が森林クイズを出題、森林の不思議さなどについてPRしました。

「小杉の大杉(通称トロの木)」で記念撮影後、出発地点の羽根沢温泉に戻り、自然からの恵みのミズ汁をいただきました。山の自然の美しさと爽快さ、ちょっぴり厳しさをも味わうことが出来た1日でした。



登山口で期待が膨らみます



三角点(中央の四角)は大切です



シダみたいな葉のオサバグサ



与蔵沼を眺めてお弁当開き

しぐらみの里林業体験、間伐の指導をしました



ヘルメット被って準備万端



首席森林官(右)の丁寧な講義



刃物からは目を離さないよう



鋸は引くとき力を入れて

6月27日(木)最上町の遊々の森「しぐらみの里」において、神奈川県立相模原中等教育学校の生徒80名による教育旅行の一環として**林業体験**(除伐・枝打ち・間伐)が実施されました。

最上町役場、NPO 法人「山と川の学校」とともに作業の指導を行い、当支署職員6名が間伐作業を担当しました。

首席森林官による林業についての講義と安全指導の後、8~12名が交代で鋸(のこぎり)を持ちスギ間伐木1本を伐採します。安全作業に徹したおかげで事故・怪我もなく終了できました。

鋸を入れても伐倒するまでに手間取る場面もありましたが、自分たちで鋸を入れた間伐木が地面に倒れた次の瞬間、大きな歓声が。よき思い出になったことでしょう。

この林業体験をきっかけに、林業に対する理解をより深めてほしいと切に感じました。



山形森林管理署 最上支署

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11



国民の森林・国有林